

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月16日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年2月9日
明治大学卒業予定年月	2023年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	シェフィールド大学(日本語名) The University of Sheffield(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2022年9月~2023年2月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):社会学部 (現地言語での名称):Department of Sociological Studies  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期:9 月中旬~2 月上旬      2 学期:2 月上旬~6 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 3 万人
創立年	1905 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	日本円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	3,206	約 520,000円	
食費		約 150,000円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	50	約 8,000円	
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		約 60,000円	形態:大学が義務付けている保険のみ
渡航旅費		約 300,000円	直行便を利用したこと、昨今のエネルギー価格の上昇により、とても高かったです。
ビザ申請費		0円	6ヶ月以内の留学のため、なし
雑費		約 20,000円	
その他		円	
その他		円	
合計		約 1,058,000円	エネルギー価格の上昇と円安の影響で想定よりも高くなりました。

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:東京・羽田 目的地:ロンドン・ヒースロー 経由地:	
復路 出発地:ロンドン・ヒースロー 目的地:東京・羽田 経由地:	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:日本航空  料金:約 300,000円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金:  復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:日本航空の公式サイト) <input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Allen court) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 )

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からのあっせんがあり、メールでの案内にそって手続きを進めました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Allen Court は、寮費が高いですが、大学のキャンパスや図書館に近かったのは良かったです。留学生が多いです。キャンパスから離れた寮だともう少し安いので、メリット・デメリットを考慮した上で判断するのが良いと思います。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地の大使館からのメールや大学、友人から情報を得ていました。夜遅くはできるだけ複数人で行動すること、貴重品の管理を気を付けていました。実際に、盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありません。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題はありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

タッチ決済に対応している、日本で作ったクレジットカードを複数枚持っていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

私は、コンタクトレンズを持っていきました。また、気に入っている日本の調味料などがあれば持っていくと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )	
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Digital Identities		
科目設置学部・研究科	Sociological Studies	
履修期間	2022 年秋学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義・セミナー (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 10 回	
担当教授	Ysabel Gerrard	
授業内容	デジタル時代においてどのようにアイデンティティが変化・再構築されるかについて	
試験・課題など	中間エッセイと期末エッセイ	
感想を自由記入	この授業が履修した授業の中で最も興味深かったです。ソーシャルメディアが私たちに与える正と負の影響や自分自身のソーシャルメディアとの付き合い方について客観的に知ることができました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Men, Feminism and Gender Relations		
科目設置学部・研究科	Sociological Studies	
履修期間	2022 年秋学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義とセミナー (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 10 回	
担当教授	Briony Hannell	
授業内容	「男らしさ」の変化やフェミニズム、ジェンダー関連全般について	
試験・課題など	中間課題で 5 分間の vlog 作成と期末エッセイ	
感想を自由記入	この授業を受けて、K-pop が世界中で人気を集めた理由が分かったし、人々のジェンダーをめぐる価値観が変化していることが改めて分かって面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Dynamics of Social Change and Policy	
科目設置学部・研究科	Sociological Studies
履修期間	2022 年秋学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・セミナー・チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 10 回
担当教授	Alvaro Martinez-Perez
授業内容	現代の社会政策課題とそれに対応する政策について
試験・課題など	中間エッセイと期末エッセイ
感想を自由記入	国際日本学部で過去に履修したことのある授業の内容と被っている部分がかかなりあったので、理解しやすかったです。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は、4 年生の秋学期からの渡航だったので、就職活動をすべて終えてから留学に行きました。大変な時もありましたが、留学を諦めたくなかったので、このような道を選びました。結果的に、留学に行けることをモチベーションとして就職活動を頑張ることができました。留学は、本当に貴重な機会なので、就職活動を不安に思って留学を断念するのはもったいないと思います。留学に少しでも興味があるのであれば、チャレンジすることをお勧めします。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	英語の勉強
	10月～12月	IELTS のスコア取得・学内選考・留学先決定
留学開始年	1月～3月	留学先大学への出願
	4月～7月	航空券購入・滞在先の確保
	8月～9月	渡航
	10月～12月	中間レポート
留学/帰国年	1月～3月	期末レポート・帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私は、小さいころから海外に憧れがあり、大学生になったら英語圏に絶対に留学したいと思っていました。その中でも、イギリスを選んだ理由は、イギリスそしてヨーロッパに興味があり、イギリス英語にも関心があったからです。シェフィールド大学を選んだ理由は、留学生が多く、世界各国から優秀な学生が集まってくるので、そういった学生と共に学び、レベルの高い環境に身を置きたかったからです。また、シェフィールドは、都会と田舎の間くらいな都市で、イギリスの中でも治安がいいことも決め手となりました。

留学生活全般に関しては、授業のスタイルが日本と異なるし、課題の負担も日本の大学よりも大きいので戸惑いもあり、大変に感じることもありました。国籍やバックグラウンドが異なる友人たちと共に生活することをはじめ、日本では体験できないような経験がたくさんあったので、本当に貴重な経験ができて幸せな半年間でした。また、自分が生まれ育った日本から遠く離れたヨーロッパという土地で、自分を客観的に見ることができたし、自分の考え方や今後の方向性を整理することができました。

私は、本来であれば2年生で留学にいくはずでしたが、コロナの影響でできませんでした。しかし、留学を諦められず、就職活動を終えた4年生の秋学期に留学すると決心しました。振り返ってみると、就職活動と留学に向けた勉強・準備の両立は大変でしたが、卒業前の最後のチャンスをつかんで留学ができて本当に良かったし、チャレンジして良かったとつくづく思います。学部によって、4年生での留学の可否は異なるかもしれませんが、上でも書いたように、就職活動を理由に留学を諦めてしまうのはとてももったいないと思います。留学に興味があるのであれば、是非チャレンジしてみてください。きっと貴重な経験ができると思います!応援しています!